

### 3つの原則

2023. 5. 29

長く生きてくると、いろいろなことが見えてくる。見え方は、自分の置かれた立場、ポジションによって違ってくる。仕事をしていると、難しい問題に直面することがある。ここ数年は、ずっとそうである。難しい問題を考えるには、3つの原則があると言われる。これは、人生のあらゆる問題に応用される。

第一に、何事によらず物を観察し考察するには、決して目先にとらわれなくて、できるだけ長い目で見るということ。

第二は、物の一面にこだわらず、できるだけ多面的に、またできるならば、全面的に考えるということ。

第三は、物事の枝葉末節に走らないで、できるだけ根本的に考察するということ。

すべて合点がいく。問題は、わかっている、それができているかどうかである。物事を目先で、一面的に、枝葉末節で見ると、長い目で、多面的に、あるいは全面的に、根本的に見るとでは、結論が正反対になることすら珍しくない。

一人の人間についてもそうである。ある人を、ほんのその場の一面だけを見て、その人の枝葉末節を取り上げて、あれはこうだということ、その人の生活・行動を長い目で見て、その人のいろいろの面を観察して、その人の根本、心のもち方などを深く掘り下げて、この人はこうだということでは、大きく違ってくる。したがって、浅はかということが一番よくない。場当たりということくらいわるいことはない。

今までのことを振り返る。若い頃のことである。お世話になってきた先生方のことを、一面的に見ていなかっただろうか。ある方向からしか見ていなかったような気がする。その先生のよさを見つけようとはしていなかったのではないか。生徒はどうだろうか。やはり、一面的とは言わないが、偏っていたような気がする。もっと、様々な角度から、多面的に見ることができていれば、もう少し違っていたかもしれない。

立場が変わり、徐々にだが、長い目で、多面的、全面的に、根本的に考えることができるようになってきた。ポジションがそうさせたとも言えるが、書籍や言葉からの影響が大きい。人の話からも影響を受けることはあるが、書籍や言葉からの方が断然多い。

これからも、目先、一面的、枝葉末節はご法度である。昔の若い頃のことには取り戻せない。誰とは限らず「申し訳ありませんでした」と、心の中で頭を下げるしかない。人生は、まだまだ続く。今後も、難しい問題が待っているだろう。たじろぐことなく、3つの原則にしたがって考えていきたい。